

KUNST ARZT では、2年振り2度目となる村上ルミの個展を開催します。村上ルミは、現実と空想が絢交ぜになったようなストーリーを、独特のコラージュによる絵画的な映像で表現するアーティストです。展示は、これまで同様、映像作品とその関連絵画からの構成ですが、本展では、メインルームの映像のストーリーが、サブルームの絵画に引き継がれます。シンプルなアイデアですが、前例のない画期的な試みです。映像と絵画の境界線がほとんどない村上ルミならではの展開です。

(KUNST ARZT 岡本光博)



映像「ベニの家の自分の洞窟」の静止画

経歴

2000 福岡県生まれ
2023 嵯峨美術短期大学 専攻科 美術専攻 修了
2024 令和6年度 佐々木喜善賞 奨励賞受賞

個展

2021 『ジャム猫編』 アートスペース嵐 (京都)
2022 『トバッコ島・メイメイ湖』 アートスペース嵐 (京都)
2023 『鱗のある庭』 +2 (大阪)
2023 『滴るアオバ』 KUNST ARZT (京都)

グループ展ほか

2021 『Ten years after~』 +1art (大阪)
2022 『甘口の太陽』 +2 (大阪)
2022 『オノマトペ』 +1art (大阪)
2023 『ゆめのとりこぼし』 アートスペース嵯峨 (京都)
2023 『音楽』 +1art (大阪)
2024 『夢ではない』 +1art (大阪)

2025 年 9 月 9 日 (火) から 14 日 (日)

12:00 から 18:00

会 場 : KUNST ARZT

605-0033 京都市東山区夷町 155-7 2F

アーティスト・ステートメント

自然の風景や、その造形美、そこに生息する植物や動物、慣れ親しんだ童話や神話からヒントを得て、ストーリー性のある映像作品の制作に取り組んでいます。制作した平面作品や立体物も素材として使用し、アナログ特有の凹凸の手触りを残した、どの場面を切り取っても、絵画的な美しさを持つ映像作品を目指しています。



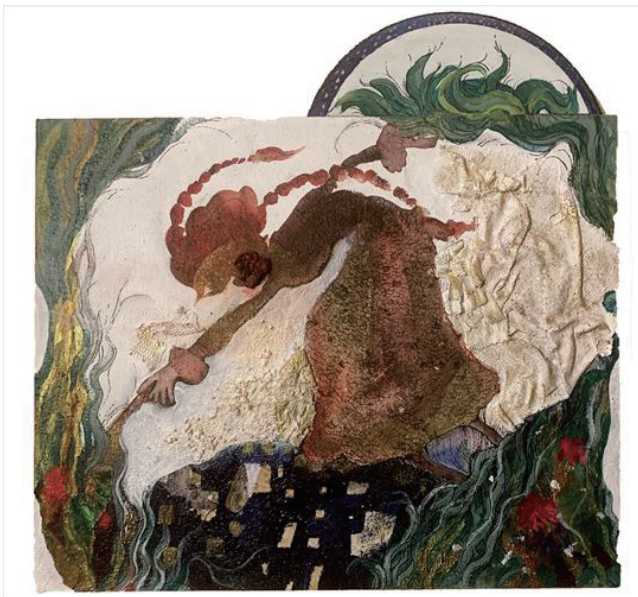
門の先のアカネ

1080×1920pixel

04' 22"

2024

二つの世界と、その境界線を連想させるものをテーマに制作しました。扉、門、夕方、川、畳縁、内側と外側、生と死など



草の枕

2023

パネルにアクリル、布、木

H273×W275mm



滴るアオバ

Dripping Aoba

2023

映像 movie 7' 39"

* 静止画